



太陽と月のカレンダー



※日の出・日の入りは八王子での時刻です。

| | | | | | | | | | | | |
|---|--------------------------|---|---|---|---|-------------------------------|--------------------------|--|---|---|--|
| 日付 (曜日) 日の出 月の形 ▼情報 天文現象 暦(こよみ) | 1 (金) 05:35 17:29 | 2 (土) 05:36 17:27 | 3 (日) 05:37 17:26 | 4 (月) 05:38 17:25 | 5 (火) 05:39 17:23 | 6 (水) 05:39 17:22 新月 | 7 (木) 05:40 17:20 | 8 (金) 05:41 17:19 寒露 (太陽の黄経 が195°になる) | 9 (土) 05:42 17:18 夕方の南西の空 で、細い月と金星 が接近 | 10 (日) 05:43 17:16 夕方の南西の空 で、細い月と金星 が接近 ☆生解説プラネタ リウム秋の星空散歩 | |
| | 11 (月) 05:44 17:15 | 12 (火) 05:44 17:14 | 13 (水) 05:45 17:12 上弦 | 14 (木) 05:46 17:11 月と土星が 接近 | 15 (金) 05:47 17:10 月と木星が接 近 | 16 (土) 05:48 17:08 | 17 (日) 05:49 17:07 | 18 (月) 05:49 17:06 後の月(十三 夜)※ | 19 (火) 05:50 17:04 | 20 (水) 05:51 17:03 満月 | 21 (木) 05:52 17:02 |
| | 22 (金) 05:53 17:01 | 23 (土) 05:54 17:00 霜降 (太陽の黄経が 210°になる) | 24 (日) 05:55 16:58 ☆全編生解説 プラネタリウ ム | 25 (月) 05:56 16:57 水星が西方最 大離角(日の 出前の東の空 で観望のチャ ンス) | 26 (火) 05:57 16:56 | 27 (水) 05:58 16:55 | 28 (木) 05:59 16:54 | 29 (金) 05:59 16:53 下弦 | 30 (土) 06:00 16:52 金星が東方最 大離角(地球 から見て金星 が太陽から一 番離れる) | 31 (日) 06:01 16:51 | ※後の月(十三 夜) 中秋の名月 (旧暦の8/15の 月の次に美しい といわれる月。旧 暦の9/13にもお 月見を行います。 少し欠けた月を眺 めるお月見。 |



二十四 節気

二十四節気とは、太陽暦(月のみちかけの周期を1か月とする暦法。旧暦。)を使用していた時代は暦と季節が少しずれるので、季節とずれない目印として考え出されました。春分や夏至などを基準に1年を24等分し、区切りの日に名前をつけたものです。現在でも季節の節目に、これを示す言葉として使われています。

寒露(かんろ) … 冷たい露の結ぶ頃。秋もよいよ本番。菊の花が咲き始め、山の木々の葉は紅葉の準備に入る。稲刈りもそろそろ終わる時期です。
霜降(そうこう) … 北国や山間部では、霜が降りて朝には草木が白く化粧をする頃。野の花の数は減り始め、代わって山を紅葉が飾る頃です。

金星を見つけよう!

★ 一番星として ★

最近、日の入り後の西の空に金星が一番星として見えます。一番星は、決まった星ではなく、夕方の空で最初に見える星のことです。金星、木星、土星などの惑星や、明るい等星(おおいぬ座のシリウスやこと座のベガ等)が一番星となります。とくに金星は太陽、月に次いで明るい星のため、一番星となることがよくあります。

★★ 「宵の明星」・「明けの明星」★★

金星は太陽から遠く離れることなく夕方の西の空と、明け方の東の空にか見えます。夕方の西の空の金星は「宵の明星(よいのみようじょう)」、明け方の東の空の金星は「明けの明星(あけのみようじょう)」といいます。今年、金星は12月まで「宵の明星」として見えます。

平安時代の作家・清少納言(せいしょうなごん)は、随筆(ずいひつ)の枕草子(まくらのそうし)の中で、美しい星々のことを「星はすばる、ひこぼし、たづつ・・・」と書いています。この「たづつ」とは、夕方の西の空に見える金星のことです。「ゆうづつ」は「夕星」と書きます。万葉集にも「夕星」と詠(よ)まれています。ちなみに「明けの明星」は、「彼誰星(かたはたれし)」とも呼ばれました。「彼誰(かたはたれ)」は、夜明け前の薄暗い様子を表す言葉です。

10月9日午後6時頃

さそり座
アンタレス

金星(-4.2等)

10月10日午後6時頃

アンタレス

金星(-4.2等)

10月9日と10月10日の夕方には、南西の低空で金星と細い月が並び、より一層美しい眺めとなるでしょう。枕草子や万葉集で詠まれた星を、八王子の夕焼け空に見つけてみてはいかがでしょうか。

★かんたん星座早見★

10月

(月は描いてありません)

- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- ☆ 惑星

星を早見は
方角を合わせ
て
見よう

10月1日午後8時00分頃

10月15日午後7時00分頃

10月30日午後6時00分頃

★プラネタリウムイベント情報! (詳しくはホームページ<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/p011705.html>をご覧ください。)

★生解説プラネタリウム「秋の星空散歩」… 10月10日(日) 15:30~16:20 見ごろとなっている星や星座、天文現象などをたっぷりとお話します。

★全編生解説プラネタリウム… 10月24日(日) 15:30~16:20 星空の解説とテーマ解説「金星」

★小学3年生理科学習番組「太陽の動きを調べよう」… 11/13までの毎週(土) (11/6を除く) 10:30~11:15 太陽とかけの動き等について学習します。

★天文講座「部分日食(11月19日)」… 11月6日(土) 10:30~11:20、15:30~16:20

※土日のプラネタリウムは事前予約制です。詳しくはホームページ等でご確認ください。